

地域を愛し、自立と共生ができ、未来を創る子ども

# 直東学園ニュース

直東学園版

令和元年度 第3号  
令和元年7月15日発行  
＜発行・編集＞  
直東学園 事務局  
〒942-0041  
新潟県上越市安江 282-1  
(上越市立直江津東中学校内)  
TEL : 025-543-2729  
FAX : 025-543-4150  
E-mail : higashi-cs@jorne.or.jp

頑張った!!

## 運動会・体育大会

各小学校で盛大に運動会・体育大会が開催されました。季節外れの猛暑の中、小学生だけではなく、保護者をはじめ、地域の皆さん、中学生、就学前の子どもたち、みんなで盛り上がった楽しい一日となりました。



### 有田小学校運動会

5月25日(土)

「宣誓 この春、ぼくたちは、新しい元号のもとに(れいわー)、さらに新しい有田小学校を築きあげ、よりよい小学校を目指しています。そして、記念すべき令和最初の運動会。仲間との絆を大切にし、心と声を合わせ、最後まであきらめず、全力で戦い抜くことを誓います。」4軍の団長による頼もしい選手宣誓により、運動会が開催されました。当日は気温が30度まで上がり5月と思えない猛暑日。応援席にテントを設営し日陰を確保。熱中症対策の中で競技が進みました。今年度は親子団体種目や全校種目「玉入れ」など、新しい競技を実施し、親子や縦割り班でのふれあいも楽しみました。おかげさまで幼児レース以外はすべて予定通り実施。保護者や地域の皆様の多大なご協力とご理解のもと、大成功に終わりました。当日は大きな声援をありがとうございました。



【5・6年生親子団体種目 何でも送り】

### 春日新田小学校大運動会

5月25日(土)



【新調された新しい応援団旗】

令和最初の運動会を記念して、応援団旗を新調しました。力強い文字は、上越教育大学学校教育センター特任教授 荒川圭子様から書いていただきました。

新しい元号 令和にふさわしいスローガン「令和最初の運動会 あきらめずに全力で走り抜け」のもと、6学年を中心に素晴らしい運動会にしようと全校が盛り上がり、準備を進めました。

すべての競技に春新パワーが発揮され、子どもたちの全力での競技や息の合ったパフォーマンスが展開されました。熱中症対策のため、競技の一部カットや繰り上げ、競技前に玄関に入って休む、閉会式を体育館で行うなどの措置をとりました。そのような中でも、全力で取り組んだ子どもたちを称えたいと思います。地域の皆様からたくさんご協力をいただきました。

ありがとうございました。



## 北諏訪小学校区体育大会

5月26日(日)

晴天の下、開催された令和最初の体育大会は、熱中症対策を万全にして実施されました。児童の応援席には大きなテントを紅白ともに2張りずつ建て、水分補給の時間も多めに取り、常に注意喚起を行いながらたくさんの競技を楽しみました。地域との合同の体育大会で、白熱した紅白の応援合戦から始まり、激闘を繰り広げる競技の数々、全校で披露する北諏訪小学校伝統の「北諏訪小よさこいソーラン」や「縦割り班競技」などを行いました。毎年、子どもから大人まで幅広い世代で大盛り上がるの大会です。閉会式では、勝敗に関係なく、今までの頑張りや成果、感謝の気持ちを涙ながらに語った紅白それぞれの団長の凛々しい姿が印象的な素晴らしい体育大会になりました。



## 創立50周年記念保倉地区体育大会

5月26日(日)



【創立50周年記念ばんざい玉入れ】

5月26日(日)、創立50周年記念保倉地区体育大会が行われました。創立50周年を記念する大会とあって、全校児童84人は保倉地域の方からの大声援を受けて、競技や応援にいつも以上に熱が入りました。子どもたちが最後まで全力で競技する姿・声をからして一生懸命仲間を応援する姿・上学年が下学年に優しく教える姿は、地域の皆様の感動を呼びました。また、恒例の地区対抗リレーやムカデ競争でも盛り上がり、地域一体となった創立50周年記念体育大会は大成功でした。最後の競技では、創立50周年を祝って、子どもたちと地域の方たちで50個の黄金色の玉入れをし、万歳三唱で閉会となりました。閉会式

では、吉田大会会長様から「保倉小の子どもたちは地域の宝です」とお言葉をいただき、地域一体となった体育大会を誇らしく感じ、これからの保倉小学校の明るい未来が見えたようでした。



### 体力づくり

#### 1校1取組運動



**北 諏 訪 小**：体力テストの結果から課題となる動きを取り入れた運動を重点的に設定し、月に1度全校で体力づくりを行っています。縦割り班で様々な運動を楽しみながら、それぞれの弱点を克服しようという目標をもって頑張っています。体育の授業でも取り上げながら体力向上を目指しています。

**保 倉 小**：1学期の体力テストの結果から自校の課題を明確にして、授業の導入時に効果的な運動を取り入れます。また、学期1回体力アップ旬間を設定して重点的に取り組んだり、竹馬・一輪車・鉄棒の検定カードを活用する等して運動遊びを推奨したりします。

**有 田 小**：体力テストを中心に日々の授業や行事を通して、児童の実態を把握していきます。体育の授業で活用したシートやカード類を綴るファイルを1人1冊持ちます。これは、自己の成長や記録の向上を実感し、自信をもって運動に取り組めるように6年間継続して活用します。

**春日新田小**：縦割り班の「なかよし体力テスト」も2年目を迎え、スムーズにできました。今年度も重点課題を「投力」と「握力」とし、体力向上に向けた授業改善を行います。また、ラジオ体操を地域行事として取り組み、学校・家庭・地域が一体となり体力づくりを進めていきます。

**直江津東中**：昼休みの様子を見ると、グラウンドや体育館で身体を動かす生徒が例年以上に多くなりました。体力テストの様子を見ると、どの学年も積極的に取り組んでいます。特に課題となっている走力については、シャトルランを2回計測するなど、生徒の意欲が増えています。

# 令和元年度 第1回直江津東地域青少年育成会議総会 5月21日開催

- 重点目標**
- ・直東学園のキャリア教育を中核とした小中一貫教育を支援する。
  - ・地域主体の「あいさつ運動」を展開する。
  - ・地域青少年まちづくりワークショップ(中学生を主体とした)に参加し、中学生の意見反映に努める。
  - ・人権教育、同和教育の推進を支援する。
  - ・地域部会、保護者部会、幼児教育部会ができる範囲で具体的な活動をする。

## 令和元年度 直江津東地域青少年育成会議 委員

役職	部会所属	学校区	氏名	備考
会長	地域部会	春日新田小学校	熊木 敏夫	有田地区町内会長協議会長
副会長		北諏訪小学校	白木 朝雄	北諏訪地区町内会長協議会長
		保倉小学校	渡邊 隆雄	保倉地区町内会長協議会長
		直江津東中学校	高橋 邦夫	直東学園理事長
委員		北諏訪小学校	西條 榮市	北諏訪小学校後援会代表
委員		保倉小学校	吉田 文雄	保倉小学校後援会代表
委員		有田小学校	内山 幸一	有田地区小学校後援会代表
会計監査		有田小学校	山崎 栄一	有田小学校後援会代表
会計監査		春日新田小学校	瀬下 利治	春日新田小学校後援会代表
幹事		保護者部会	直江津東中学校	小林 育夫
委員	北諏訪小学校		小林 和人	PTA会長
委員	保倉小学校		平原 正樹	PTA会長
委員	有田小学校		笠松 英明	PTA会長
委員	春日新田小学校		新川 剛	PTA会長
副会長	すこやかネットワーク部会	直江津東中学校	稲葉 浩一	学校長
委員		北諏訪小学校	丸山 睦子	学校長
委員		保倉小学校	吉越 透	学校長
委員		有田小学校	林 克巳	学校長
委員		春日新田小学校	亀山 浩	学校長
幹事	幼児教育部会	春日新田小学校	河上 恵美子	有田保育園長
委員		北諏訪小学校	細野 あかね	北諏訪保育園長
委員		保倉小学校	柳澤 奈美	保倉保育園長
幹事	学園支援本部	春日新田小学校	青木 ユキ子	地域コーディネーター
委員		北諏訪小学校	立花 利恵	地域コーディネーター
委員		保倉小学校	梅澤 龍子	地域コーディネーター
委員		有田小学校	秋山 千恵子	地域コーディネーター
委員		直江津東中学校	樺沢 早苗	地域コーディネーター
委員	有田小学校	木原 満男	直東学園事務局長	

### 地域コーディネーター

(◎は長)

学校名	氏名	事務局分担
直江津東中学校	高橋 邦夫	
北諏訪小学校	立花 利恵	ボランティア(北諏訪小窓口)
	袖山 好恵	地域青少年まちづくりワークショップ
	大瀧 修一	
保倉小学校	渡邊 隆義	
	渡邊 一男	地域青少年まちづくりワークショップ
	梅澤 龍子	ボランティア(保倉小窓口)
有田小学校	秋山 千恵子	ボランティア(有田小窓口) コーディネーター委員会委員
	樺沢 早苗	地域青少年まちづくりワークショップ ボランティア(東中窓口)
	木原 満男	◎地域青少年まちづくりワークショップ
春日新田小学校	青木 ユキ子	◎ボランティア(春日新田小窓口)

### 事務局

事務局長	直江津東中学校	高橋 邦夫
	(外部団体関係機関担当)	
事務局次長	有田小学校	木原 満男
	(外部団体関係機関担当補佐)	
事務局員		鎌倉 穂波
	(庶務・会計)	
学校別事務局長	直江津東中学校	江口 利彦
	北諏訪小学校	佐藤 吉弘
	保倉小学校	竹内 聖子
	有田小学校	工藤 寛之
	春日新田小学校	齋藤 哲生



# 直江津東中学校区生活のきまり

## 1 安全面

- ゲームセンター、ゲームコーナー、カラオケボックスなど、子どもだけでは行きません。  
★行く時は、**保護者が責任もてる大人**と一緒に行動します。
- 動画、ゲーム、SNS（フェイスブック、ツイッター、ラインなど）の使用のモラルやマナーを守ります。  
★**小学生は夜8時まで、中学生は夜9時まで**の利用とします。  
★保護者と一緒に使い方の約束をしてから使います。  
★**1日の使用時間は2時間以内**にします。
- 自転車等による、危険な走行はしません。  
★危険走行：飛び出し、二人乗り、手放し乗り、斜め横断、並列走行、スピードの出しすぎ、交差点での一時不停止、信号無視、暗くなってからの無灯火等  
★決められた範囲で乗ります。家の人の許可を得て乗ります。  
★幼児、児童の自転車走行時の**ヘルメットの着用は、「努力義務」**になっています。自分の命を守るためにも着用しましょう。  
★キャスターボード、キックボード、ローラースケート等は歩道や車道では乗りません。  
★降雪時、凍結時は自転車に乗りません。

## 2 外出

- 「だれと」「どこへ」「何をしに」「いつ帰る」を家の人に必ず伝えます。
- 朝、午前9時までは遊びに出かけません。
- 帰宅の時刻を守ります。ただし、家庭・地域の行事等がある場合は除きます。  
★【小学生】**夕方5時まで**に帰宅します。  
★【中学生】**夜7時以降**の子ども同士での外出は禁止です。  
※ただし、夏休み中は、夕方6時までに帰宅します。  
冬休み中は、夕方4時30分までに帰宅します。

## 3 外泊

- 子ども（児童、生徒）だけで、友人宅への外泊はしません。心配な行動が現れてくることが多いからです。また、本人同士の思いだけでできることではなく、相手の家庭の都合を配慮しなければなりません。

